

対象国の条件: アセアンを中心とする債券市場整備が課題となっている国

研修コース番号: 201984610-J002

案件番号: 201984610

主分野課題: 経済政策/金融

副分野課題: 経済政策/その他経済政策

使用言語: 英語

案件概要

本研修は、アセアン地域を中心とする開発途上国において、今後特に債券市場の整備・発展が求められる国々の財務省や中央銀行等の債券市場育成整備の政策立案者を対象に、債券市場育成のための法制度・インフラ整備や市場参加者育成に関する講義・討議・視察等を通じ、各国の債券市場整備・発展のための政策提案を作成することを目的に実施する。

目標/成果		対象組織/人材	
<p>【案件目標】 各国の債券市場整備・発展のための政策提案に向けた能力向上がなされ、政策提案が所属組織において共有・検討される。</p> <p>【成果】 1. 日本の経験が共有され、金融システム整備と債券市場発展の重要性が説明できる。 2. ABMIなど債券市場育成にかかるこれまでのASEAN域内の取り組みが説明できる。 3. 各国の債券市場整備に必要な具体的課題が説明できる。 4. 日本および参加者間の債券市場関係者（省庁、日銀、証券会社、決済システム関連企業、証券取引所等）との関係が構築され、問題意識が共有される。</p>		<p>【対象組織】 財務省・中央銀行等</p> <p>【対象人材】 1・職位 中堅職員以上（関連分野における経験5年以上） 2・言語（英語に堪能であること）</p>	
内 容		本邦研修期間	2019/12～調整中
<p>【事前活動】 ・債券市場整備における各国の現状・課題に関するポジションペーパー作成</p> <p>【本邦研修】 講義：アセアン債券市場の現状と課題、日本の債券市場発展の歴史概観、域内金融における債券市場の重要性に関する理論的整理、債券市場整備に必要な施策の理論と実際（諸規制、監督、決済、格付け、商品組成、投資家育成など） 訪問：金融庁、証券会社、決済システム関連企業等 討議および発表：各国の債券市場に関する現状と課題、政策案の検討、討議および発表</p>		担当課題部	産業開発・公共政策部
		所管国内機関	JICA東京（産業公共）
		関係省庁	財務省
		実施年度	2017～2019
主要協力機関	(公財)国際通貨研究所、JICE		
特記事項 及び ホームページ			